



夏休みの宿題やサマースクールへのご協力ありがとうございました。子ども達の顔を見ると、とても充実した夏休みを過ごし、心も体もより成長したことが伝わってきました。夏休みの生活リズムは、なかなか抜けにくいとは思いますが、学校生活のリズムや規則正しい生活を取り戻せるようご家庭でもご協力をお願いします。

2学期には様々な学校行事が行われます。担任一同、子ども達のさらなる成長を目指し、支援、指導をしていきます。2学期もご協力をよろしくお願いいたします。

購入教材等・口座振替のお知らせ
第3回口座振替日 9月10日（水） 集金額 2,000円（※別途 手数料が10円かかります。）

【購入品】

国語テスト 算数テスト 漢字のたしかめ（ばら形式） ハンドフリーチアポンポン 紙コップ セロテープ かぶって変身 デザインペーパー まどのあるたてもん ご協力のほど、よろしくお願いいたします。	漢字ドリル 漢字学習ノート下 計算ドリル 計算ドリルノート 四つ切画用紙 八つ切り画用紙 九九カード 版画用紙
---	--

9月の学習予定

国語：	雨のうた ことばでみちあんない みの回りのものを読もう 書いたら、見直そう かん字のひろば② どうぶつ園のじゅうい かたかなのひろば ことばあそびをしよう	図工：	えのぐひっぱレインボー わくわくカッターナイフ
算数：	計算のくふう たし算とひき算のひっ算 長方形と正方形	体育：	表現あそび 運動会練習
生活：	もっともっとまちたんけん みんなにつたえようすてきなまち	道徳：	伝統文化の尊重、国や郷土を愛する態度 節度、節制 規則の尊重 礼儀
		音楽：	リズムをかさねて楽しもう 音楽会練習
		学活：	2学期になって 避難訓練の正しい参加の仕方 規則正しい生活

運動会練習が始まります！

10月4日（土）の運動会に向けて、練習が始まります。ほぼ毎日練習があります。必要に応じて体育着の代わりとなる着替え（白いシャツ・黒か濃紺の短パン等）、汗拭きタオル、水筒を持たせてください。暑い中での練習となります。体調管理等ご家庭での声かけもお願いいたします。また、運動会の詳細については、後日ご連絡いたします。

☆第63回秋季運動会 10月4日（土）
☆予備日①10月5日（日） ②10月7日（火） ※10月6日（月）は振替休業日となります。

★運動会のダンス表現で、ポンポンと黒いＴシャツを使用します。★

ポンポン	黒いＴシャツ
学校で購入し、9月5日（金）に持ち帰る。	各ご家庭で準備をお願いします。
記名、組み立てをして、9月12日（金）までに持ってくる。	確認のため、9月19日（金）までに持ってくる。 ポンポンとＴシャツが入る袋に入れる。 Ｔシャツ、袋に記名する。

ご協力よろしくお願いいたします。

・お知らせとお願い

○算数の授業で、三角定規を使用します。

三角定規は、透明で目盛が一边にのみあるものを使用します。9月8日（月）に、申し込み用封筒を配付する予定です。購入を希望される場合は、封筒にお金を入れて、9月12日（金）に持たせてください。ご自宅にあるものを使う場合は、イラストが入っていない三角定規をご用意ください。また、透明で目盛りが一边のみにあるかを確認してください。値段は200円（税込）です。

○9月1日（月）に、国語（下）、算数（下）の教科書を配付します。

必ず記名をし、担任から連絡があるまでご家庭で保管をお願いいたします。しばらくの間はまだ（上）の教科書を使用します。（下）の教科書を使用する際は、担任より連絡帳でお知らせします。

○生活科の材料集めをお願いします。

11月に学習予定の生活科「あそんで 作って くふうして」では、身近な材料を集めておもちゃを作ります。授業で使うため、随時、材料となるものをご自宅を集めておいてください。特に、なかなか集まらない材料（例えば、マヨネーズ・ケチャップのチューブ、サランラップやトイレットペーパーの芯など）などの保管をお願いします。詳しくは、生活科の教科書（下）46ページから55ページをご覧ください。なお、集めた材料は、個人でなく学級の児童みんなで分け合って使います。ご承知おきください。

＜2年生！ 青木っ子に非認知能力を育む 言葉かけチャレンジ＞

① こんなとき、なんて言いますか？

お家のことで忙しいとき、「ちょっと待ってね」と子どもたちに言って、そのままになりがちなことはありませんか。「いつも『待ってね』って言って話を聞いてくれない！」と信頼関係が崩れないようにするために、以下のような言葉がけをすると信頼関係を構築することができます。

② POINT！

ちょっとやさしくなどの曖昧な言葉は目に見えないので、イメージしにくい場合があります。

③ 例えば

ちょっと待ってね

Change!!

あと、〇分待ってね

どのくらい、どのようにを数字や実例、動き方などで具体的に伝えると子どもたちもイメージしやすくなります。さらに理由を付け加えるとより信頼関係を築くことができるかもしれません。

（出典元：『楽々かあさんの伝わる！声かけ変換』 大場美鈴著 あさ出版）